市町村名	八重瀬町

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑤	港川フィッシャー整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度：平成24年～26年	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－Ⅰ－(1)
事業内容	港川人発見場所の港川フィッシャーを新たな観光資源として活用するため、港川フィッシャーを整備する。			
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況 (a)当初予算額	115,118	―			
(b)予算現額	110,202	―			
(c)増減額(b-a)	4,916	―			
(d)繰越額	―	108,370			
A. 計(b+d)	110,202	108,370			
B. 執行済額	1,832	108,149			
うち交付金充当額	1,465	86,519			
次年度繰越額	108,370	0			
執行率（%）(B/A)	1.7%	99.8%			

予算の状況の説明	
	関係機関との調整の遅れにより繰越となった。 港川フィッシャーを整備するため用地購入を行った。 遺跡模型の制作も予定のとおり執行できた。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		24年度	25年度	26年度	27年度
･土地鑑定委託 ･港川フィッシャー遺跡模型の制作　1個 ･用地購入(5,763.9㎡)	目標	(土地鑑定 模型制作 用地購入)	( )	( )	( )
	実績	土地鑑定 模型制作 1個 用地購入			
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				

達成状況説明：土地の鑑定評価を行い、用地を購入したが、当初予定していた5,763.9㎡に町有地も含まれていたため実績として約5,188㎡の購入面積となった。また、港川フィッシャー遺跡模型の制作を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
･港川フィッシャー遺跡模型の常設展示 ･港川フィッシャー整備の着手	目標	( )	(常設展示 整備着手)	( )	( )	( )
	実績		常設展示 整備着手			
【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績					

進捗状況説明：
･港川フィッシャー遺跡模型を利用して、町立資料館で遺跡から出土「港川人」発見者の企画展を3か月間開催し、約1,500名の来場者が訪れた。前年度同時期に対し45%来館者が増えた。
･港川フィッシャー遺跡の用地購入を行った。

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・港川フィッシャーから発見された1万8千年前の人骨化石「港川人」は、日本列島の旧石器人とその文化を考える上で重要な化石人骨でありほぼ全身骨格が復元可能な人骨資料群はアジア地域においても群を抜いた良好な更新世人骨と評価されています。遺跡の見学者も増える中、ほとんどが民有地であるため施錠され見学が容易でない現状です。 ・敷地内に歩道や休憩所、トイレ、駐車場の完備もなくハブや危険小動物などからの安全確保も難しく安心して見学できる状況でありません。	・見学者が安心して見学できる環境整備の充実を図る必要がある。 ・遺跡におけるガイドの養成など、見学者が増えることによって生じる受け入れ方の体制の強化も必要となる。 ・基本設計など今後の建設に関する協議が必要となる。 ・港川フィッシャー遺跡に対する理解が深めるために、模型の展示を企画展のみではなく、常設で展示を行い遺跡の様相を説明していく必要がある。

今後の取り組み方針

・港川フィッシャー整備の着手に向けた、検討委員会の設置。
・定期的に資料館学芸員による資料館展示資料の説明会を開催し、来館者に「港川フィッシャー遺跡」の理解を深めてもらう。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
109,981	109,981	87,984	21,997	

八重瀬町
109,981千円

- 役務費 372千円 → 仲本不動産鑑定研究所 372千円 （不動産鑑定業務）
- 委託費 1,460千円 → 株式会社パスコ 1,460千円 （港川フィッシャー遺跡模型制作）
- 公有財産購入費 108,149千円 → 用地購入　10筆 108,149千円 （用地購入）

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	●支出先の選定については、フィッシャー周辺の地権者であり妥当である。 ●予算規模は遺跡周辺の鑑定評価額に基づき購入した額であり妥当と考える。 ●費目・使途は事業目的に必要な経費に限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑦	富盛石彫大獅子周辺整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度：平成24年～26年	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－Ⅰ－(1)
事業内容	本町にある沖縄県最古で最大である石彫の大獅子を観光資源として活用するために、駐車場等の周辺整備を行う。			
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,601	—			
	(b)予算現額	4,451	—			
	(c)増減額(b-a)	▲ 150	—			
	(d)繰越額	—	4,051			
	A. 計(b+d)	4,451	4,051			
B. 執行済額		400	3,916			
うち交付金充当額		300	3,133			
次年度繰越額		4,051	0			
執行率（%）(B/A)		9.0%	96.7%			

予算の状況の説明：関係機関との調整の遅れにより繰越となった。
富盛石彫大獅子周辺整備のために予定のとおり用地購入(257.6㎡)を行った。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		24年度	25年度	26年度	27年度
富盛石彫大獅子周辺整備 ・土地鑑定委託 ・用地購入(2,025㎡) ・駐車場の整備(10台)	目標	(鑑定委託 用地購入 駐車場整備)	(　)	(　)	(　)
	実績	鑑定委託 用地購入			
	目標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績				

達成状況説明：・土地の鑑定評価を行い、用地を購入した。当初の購入予定面積は1筆すべての面積であったが、必要最低限の面積を分筆し257.6㎡の用地購入実績となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
・駐車場の整備の着手	目標	(　)	(整備の着手)	(　)	(　)	(　)
	実績		整備着手			
【参考指標】	目標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績					

進捗状況説明：駐車場用地を購入し整備に着手した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・富盛石彫大獅子は、沖縄の獅子文化のルーツともいえる村落獅子で見学者が増えてきている。そんな中、駐車場やトイレなどの完備が不十分であり見学が容易にできる環境でないのが現状である。 ・周辺の畑は民有地であるため、その一部を駐車場として整備することが望ましい。	・トイレを整備する周辺土地（一部）の購入 ・街灯やバリヤフリーの整備も必要である。

今後の取り組み方針

・駐車場の整備検討を行う。
・トイレや街灯などの設置検討を行う。
・富盛石彫大獅子周辺整備事業の検討委員会の設置

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,316	4,316	3,452	864	

八重瀬町
4,316千円

- 役務費 400千円 → 仲本不動産鑑定研究所400千円 （不動産鑑定業務）
- 公有財産購入費 3,916千円 → 用地購入　1筆 3,916千円 （用地購入）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	●支出先の選定方法については富盛石彫大獅子周辺の土地所有者であり妥当と考える。 ●予算規模については駐車場規模に対する鑑定評価額に基づき購入したので妥当と考える。 ●費目・使途は事業目的に即し必要経費である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑩	玻名城の郷整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	土木建設課	事業実施(予定)年度 平成２４年～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	玻名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道及び海浜公園等の整備を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	52,940	―			
	(b)予算現額	52,940	―			
	(c)増減額(b-a)	0	―			
	(d)繰越額	―	52,940			
	A. 計(b+d)	52,940	52,940			
B. 執行済額		0	52,681			
うち交付金充当額		0	42,144			
次年度繰越額		52,940	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.5%			

予算の状況の説明：
・遊歩道、アクセス道路が山林地域にあるため用地測量に不足の期間を要し繰越となった。
・不用額259千円は、入札残による不要である。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		24年度	25年度	26年度	27年度
基本計画の策定	目標	(計画の策定)	(　)	(　)	(　)
	実績	計画策定をした。			
アクセス道路の設計の実施	目標	(設計)	(　)	(　)	(　)
	実績	設計の実施			

達成状況説明：玻名城の郷整備事業の計画の策定及び、遊歩道の用地測量の実施をした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
・基本計画の策定 ・アクセス道路の設計の実施	目標	(　)	(計画策定 設計)	(　)	(　)	(　)
	実績		計画策定の実施 設計の実施			
【参考指標】	目標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績					

進捗状況説明：玻名城の郷整備事業の計画の策定及び、遊歩道の用地測量が完了。今後は、遊歩道用地の購入及び、アクセス道路の工事に着手する。

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
・現地の状況把握があまく、工期の算定ができていなかった。 ・関係機関及び、地権者との調整が遅れた。	・事前に関係機関、地権者との調整を密に行い、現場の状況を確認し、事業の実施に支障のないよう努める必要がある。

今後の取り組み方針

実施設計により、アクセス道路の整備を行う。
用地測量の成果により、用地買収を行う。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
52,681	52,681	42,144	10,537	

八重瀬町 52,681千円 → 委託料 52,681千円
→ 32,,480千円 （有） 新技術開発 ― 玻名城の郷整備事業測量設計委託業務
→ 20,,201千円 （有） 琉測コンサルタント ― 玻名城の郷整備事業用地測量業務

資金の流れ、費目・使途の点検・評価

評価	点　検　項　目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は設計書を元に指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業成果（納品）の提出、及び完了検査において適正であった。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑪	運動公園施設等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	プロ及び大学チーム等のキャンプに利用される施設を整備し、ハイレベルな練習環境等提供することにより、スポーツツーリズムの振興を図り、あわせて町民の健康増進を図る。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	133,920	－			
	(b)予算現額	133,920	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	124,571			
	A. 計(b+d)	133,920	124,571			
B. 執行済額		9,349	118,769			
うち交付金充当額		7,479	95,015			
次年度繰越額		124,571	0			
執行率（%）(B/A)		7.0%	95.3%			
予算の状況の説明	韓国プロ野球球団のｷｬﾝﾌﾟの利用計画と管理用倉庫の建設予定箇所が重なったことにより、その調整に期間を要し、翌年度に繰り越すことになった。 また、5,802千円の不要については、設計の精査によるものと入札残分である。					

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		24年度	25年度	26年度	27年度
・芝等管理機械購入及び、機械倉庫建設 ・ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ施設(筋トレ施設)整備 ・町営ﾌﾟｰﾙ遮光ﾈｯﾄ施設(A＝600㎡)の整備	目標	（左記の施設整備）	（　）	（　）	（　）
	実績	左記の施設整備			
	目標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実績				
達成状況説明	・芝管理機械等の購入により、野球場、サッカー場等の芝メンテナンスの質の向上と、さらにトレーニング施設を整備することにより、キャンプ実施団体にハイレベルな練習環境を提供できた。 また町営ﾌﾟｰﾙに遮光ﾈｯﾄを整備し、紫外線による健康被害を軽減することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
キャンプ実施団体	目標	（3）	（5）	（　）	（　）	（　）
	実績		5			
	目標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実績					
進捗状況説明	春季キャンプの実施団体が、25年春の3団体(野球のみ)から、26年春には、5団体(野球2団体、サッカー3団体)に増加し、スポーツツーリズムの振興が図られている。					

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
・ハイレベルな練習環境を提供する観点から、初年度は県の芝人(ｼﾊﾞｿﾁｭ)事業とタイアップすることにより芝等のｺﾝﾃﾞｨｼｮﾝの向上を図れたが、持続的に提供するためには芝管理の人材の確保を図ることが課題である。	継続的にハイレベルな練習環境を提供するために、芝等施設の管理者の育成、または人材確保を図る必要がある。

今後の取り組み方針

常にハイレベルな練習環境を提供する観点から、継続的な人材確保を目指していきたい。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
128,118	128,118	102,494	25,624	

八重瀬町 128,118千円

- 消耗品費 100千円
  - ㈲ｵﾌｨｽﾊﾟｰﾄﾅｰ 100千円 〔消耗品購入（事務用品〕
- 委託料 12,986千円
  - ㈲琉邦技研 7,915千円 〔社会体育施設整備現場技術業〕
  - 三ツ矢設計 4,620千円 〔運動公園ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室他実施設計業〕
  - ㈲アース探査 451千円 〔東風平運動公園磁気探査業務.〕
- 工事請負費 86,493千円
  - 丸繁建設 21,183千円 〔東風平運動公園管理用倉庫建築〕
  - ㈲フォースター 21,210千円 〔町営ﾌﾟｰﾙ施設機能強化工事〕
  - ㈲世名城建設 44,100千円 〔東風平運動公園ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ施設建築工〕
- 備品購入費 28,539千円
  - ㈱屋我商会 9,240千円 〔管理用機械購入〕
  - ㈲ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ機器購入 19,299千円 〔ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ機器購〕

資金の流れ、使途の点検・評価（費目・使途）

評価	点　検　項　目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務、備品購入、工事等の業者は競争入札方式により決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	沖縄特殊戸籍システム電算化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
担当部課名	住民環境課	事業実施(予定)年度：平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	本町で保管している沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施する。			
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	38,555	－			
	(b)予算現額	30,325	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 8,230	－			
	(d)繰越額	－	21,525			
	A. 計(b+d)	30,325	21,525			
B. 執行済額		8,800	21,525			
うち交付金充当額		7,040	17,220			
次年度繰越額		21,525	0			
執行率（%）(B/A)		29.0%	100.0%			

予算の状況の説明
・予算現額のとおりに執行できた。
・沖縄関係戸籍の作業枚数（当初65,250枚が55,155枚）の減に伴う予算減額
・電子化にあたって、想定以上に劣化が進んでいたため、紙資料をピンセットで慎重に取り扱う作業が発生し、その対応に不測の日数を要した為。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		24年度	25年度	26年度	27年度
紙戸籍の電算化の実施 対象戸籍数　9,738件	目標	(　9,738件　)	(　)	(　)	(　)
	実績	9,805件			
	目標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績				

達成状況説明
・紙戸籍の実質作業対象戸籍数、目標9,738件が実績9,805件と増になっている。
・戸籍訂正の際の重要な根拠資料として活用されている沖縄関係戸籍が電算化されたことで、今なお続く戦後再編された戸籍の訂正等に永続的に活用することができるようになり、さらに電算化により戸籍再編までに要した書類データの保管や当該書類の検索性の向上につながった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(25年度)
沖縄関係戸籍の電算化を実施	目標	(　0　)	(　100%　)	(　)	(　)	(　100%　)
	実績		100%			
【参考指標】	目標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績					

進捗状況説明
沖縄戦において戦災滅失した戸籍を再製するために作成された仮戸籍申告書、臨時戸籍及び福岡戸籍の紙戸籍を電算化することで、これまで戸籍訂正や相続等で、住民の照会や申請に対し、手作業で検索し証明発行に時間が掛かっていた業務が迅速かつ正確に行なえるようになった。

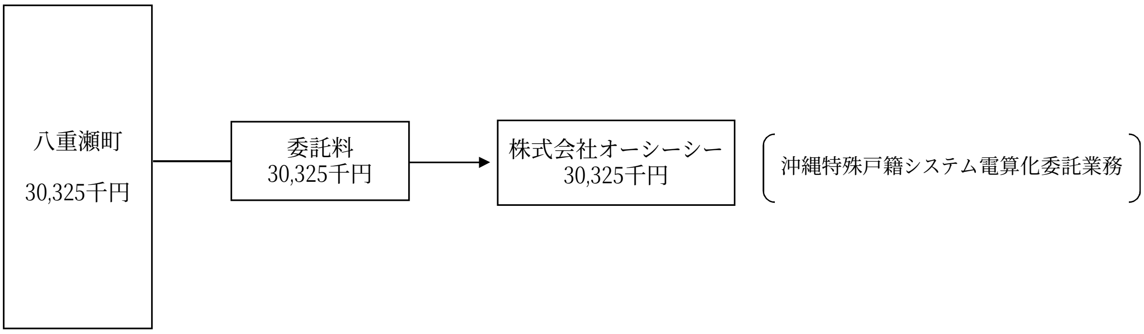
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・電子化された戸籍の活用方法については、個人情報保護の観点を含め十分に配慮する必要がある。	電子化による保存性、検索の向上は、戸籍訂正の際の資料にとどまらず、沖縄の戦後における貴重な資料としての活用が期待でき現時点でシステム上の課題はないと考える。

今後の取り組み方針

今後は戸籍訂正のみならず、相続登記の際の証明書類など幅広く活用されることが期待され、安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービス向上が見込まれる。現時点での課題はないと考えるが、今後活用していくなかで新たな課題が発生した場合は随時対応を検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
30,325	30,325	24,260	6,065	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、随意契約にあたり企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	